

平成25年度 活動報告書

富良野への移住を促進する取り組みについて



ふらの市移住促進協議会

目 次

■組織の概要	2
■平成25年度事業実績	
1. 移住促進に係るPR活動の実施	
(1) 首都圏等プロモーション活動の実施	5
(2) ホームページ等企画立案・運営管理	9
(3) 移住協通信の発行	10
2. 移住促進に係る各種事業の推進	
(1) 移住体験モニターツアーの企画・実施	10
(2) ふらの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施	11
(3) 空き家等の情報収集及び提供	13
(4) 就労に関する情報の拡充	13
(5) 移住者に対するフォローアップ	13
3. 各種会議開催状況	
(1) 総会	13
(2) 幹事会	13
(3) 移住促進作業チーム	13
■移住実績	14
■移住相談集計結果	15
■参考資料	
○新聞記事	16
○移住協通信	17

組織の概要

- 名 称 ふらの市移住促進協議会

- 代表者 富良野市長 能 登 芳 昭

- 設 立 平成21年5月21日

- 事務局 〒076-8555 富良野市弥生町1番1号
 富良野市総務部企画振興課内
 電話 0167-39-2304 FAX 0167-23-2121

- 目 的 富良野市への移住希望者を対象として、民間団体と市が連携・協力し、富良野市への移住の促をすることにより、地域振興を図ることを目的とする。

- 協議会会員

構成団体

富良野市、ふらの農業協同組合、富良野商工会議所、山部商工会、ふらの観光協会
 富良野建設業協会、北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区

会員事業所 平成25年度 25事業所

(株)アーキスト	(株)扇商連 (サンエービルド工業)	(有)フラワープティック エハラ
旭川信用金庫 富良野支店	鶴 Apartment	(株)プリンスホテル 新富良野プリンスホテル
(株)FB ふらのバーガー	てっぱん・お好み焼き まさ屋	(株)北菱
(株)亀屋斉藤商店	(株)那知組	北海道ホテル&リゾート(株) ホテルナトゥールヴァルト富良野
(株)軽米組	西出装飾	(株)ゆあさ
(株)菊田建設	(株)ニュー富良野ホテル	(株)吉田塗装店
北の宿 望峰	(株)富良野タクシー	(株)ラジオふらの
(株)コダマ	富良野地方卸売市場(株)	
(株)佐藤建業	富良野ホテル・ベルヒルズ	

(50音順)

■ふらの市移住促進協議会規約

（名 称）

第1条 本会は、ふらの市移住促進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

（目 的）

第2条 協議会は富良野市への移住希望者を対象として、民間団体と市が連携・協力し、富良野市への移住の促進することにより、地域振興を図ることを目的とする。

（事 業）

第3条 協議会の主な事業は、次のとおりとする。

- （1）移住促進に係るPR活動の実施
- （2）移住促進に係る各種事業の推進
- （3）その他 移住促進のために必要な取組

（組 織）

第4条 協議会は、富良野市、ふらの農業協同組合、富良野商工会議所、山部商工会、ふらの観光協会、富良野建設業協会、北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区、及び協議会の趣旨に賛同する各団体の構成員をもって組織する。

（役員及び職務）

第5条 協議会に、次の役員を置く。

- （1）会 長 1 名
- （2）副会長 1 名
- （3）理 事 4 名
- （4）監 事 1 名

2 役員は、協議会において選任する。

3 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の役員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

6 理事は、協議会の主要事項の審議並びに会務の運営にあたる。

7 監事は、会計を監査する。

（会 議）

第6条 協議会の会議は、会長が必要と認めたときに招集し、開催する。

（会 計）

第7条 協議会の経費は、会費、その他収入をもってこれに充てる。

2 協議会の会計年度は4月1日から翌年の3月31日までとする。ただし、設立年度については、施行日から翌年の3月31日までとする。

（幹事会）

第8条 協議会の事業が円滑に運営できるように企画立案し、関係団体実務担当者相互の連携協調を図ることを目的として幹事会を置く。

（事務局）

第9条 協議会の事務局は、富良野市役所総務部企画振興課に置く。

（委 任）

第10条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規約は、平成21年5月21日から施行する。

【役 員】

（任期：平成25年度～平成26年度）

職 名		構 成 団 体
会 長	能 登 芳 昭	富良野市長
副会長	上 田 勉	北海道宅地建物取引業協会旭川支部富良野分区長
理 事	植 崎 博 行	ふらの農業協同組合代表理事組合長
理 事	荒 木 毅	富良野商工会議所会頭
理 事	平 賀 周 一	山部商工会会長
理 事	松 井 敬 二	ふらの観光協会会長
監 事	平 沢 幸 雄	富良野建設業協会会長

1. 移住促進に係るPR活動の実施

(1) 首都圏等プロモーション活動の実施

○北海道暮らしフェアへの参加

■目的

子育て世代・団塊世代等に広がりを見せる「第二の故郷探し」の胎動を踏まえ、北海道への移住・交流を促進するため、首都圏において富良野市ならではの魅力と「お試し暮らし」をはじめとした、富良野市へ移住に関する情報等を、積極的にアピールするフェアに参加し、富良野市の生活・暮らしを身近に知ってもらい、交流・定住人口の増加を通じた地域活性化を目指す。

■主催

NPO 法人住んでみたい北海道推進会議

■共催

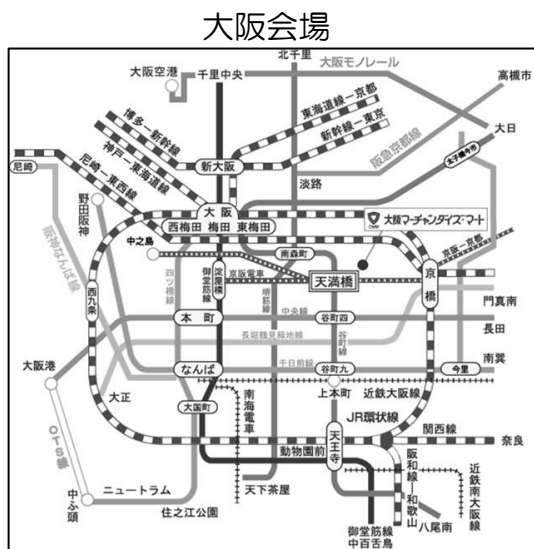
北海道移住促進協議会、北海道

■開催日時

◇大阪会場：平成25年10月20日（日）10:00～16:30

◇東京会場：平成25年11月16日（土）10:00～16:30

■会場



■入場者数

◇大阪会場：800人（富良野来場者37組）

◇東京会場：1,250人（富良野来場者31組）

■会場の様子

◇大阪会場



◇東京会場



■アンケート集計結果

Q1 北海道に移住するとしたら、どのような点をどの程度優先しますか？

		大阪	東京
1. 日常生活に不便が無いこと	最優先したい	5.9%	33.3%
	優先的に考えたい	76.5%	26.7%
	こだわらない	17.6%	13.3%
	無回答	0.0%	26.7%
2. 自然が豊かであること	最優先したい	47.1%	46.7%
	優先的に考えたい	47.1%	40.0%
	こだわらない	5.9%	0.0%
	無回答	0.0%	13.3%
3. 仕事があること	最優先したい	17.6%	13.3%
	優先的に考えたい	17.6%	26.7%
	こだわらない	58.8%	13.3%
	無回答	5.9%	46.7%
4. 移住者の支援制度があること	最優先したい	11.8%	20.0%
	優先的に考えたい	41.2%	20.0%
	こだわらない	41.2%	26.7%
	無回答	5.9%	33.3%
5. 不動産の価格が安いこと	最優先したい	5.9%	13.3%
	優先的に考えたい	58.8%	33.3%
	こだわらない	29.4%	13.3%
	無回答	5.9%	40.0%
6. 医療・福祉体制	最優先したい	23.5%	26.7%
	優先的に考えたい	52.9%	53.3%
	こだわらない	23.5%	0.0%
	無回答	0.0%	20.0%

Q2 富良野市に移住するとしたら、どのような形態を希望しますか？

	大阪	東京
完全移住	15.8%	27.8%
二地域居住	26.3%	22.2%
シーズンステイ	57.9%	33.3%
無回答	0.0%	16.7%

Q3 富良野市に移住するとしたら、住宅はどのような形態を希望しますか？

	大阪	東京
一戸建て住宅（賃貸）	35.0%	38.1%
一戸建て住宅（売買）	20.0%	19.0%
アパート（賃貸）	45.0%	38.1%
無回答	0.0%	4.8%

Q4 富良野市の移住に関する情報は、どこから入手しましたか？

	大阪	東京
北海道移住促進協議会ホームページ	23.5%	42.1%
富良野市公式ホームページ	5.9%	21.1%
ふらの市移住促進協議会ホームページ	0.0%	0.0%
協議会ブログ「ふらのに住んだらイイジャナイカ♪」	0.0%	5.3%
移住情報誌	5.9%	0.0%
その他ホームページ	5.9%	5.3%
その他	47.1%	15.8%
無回答	11.8%	10.5%

Q5 富良野市にお越しになったことはありますか？

	大阪	東京
ある	82.4%	80.0%
ない	17.6%	13.3%
無回答	0.0%	6.7%

Q6 北海道への移住を考えたとき、富良野市はその候補地として対象になりますか？

	大阪	東京
なる	88.2%	73.3%
ならない	5.9%	6.7%
何とも言えない（わからない）	5.9%	13.3%
無回答	0.0%	6.7%

Q7 ホテルやペンションを利用した、5日～1週間程度の旅行商品があったら利用しますか？

	大阪	東京
はい	82.4%	66.7%
いいえ	17.6%	13.3%
無回答	0.0%	20.0%

Q8 アンケート回答者の年齢構成

	大阪	東京
20歳代	0.0%	0.0%
30歳代	11.8%	28.6%
40歳代	11.8%	0.0%
50歳代	5.9%	7.1%
60歳代以上	70.6%	64.3%
無回答	0.0%	0.0%

(2) ホームページ等企画立案・運営管理

■ホームページ (<http://www.iju.furano.jp>)



ホームページトップ画面

◇アクセス件数

平成25年4月～平成26年3月

26,845 アクセス

月平均約 2,237 アクセス

■ブログ (<http://ameblo.jp/furano-ijusokushin/>)



ブログトップ画面

◇アクセス件数

平成25年4月～平成26年3月

88,042 アクセス

月平均約 7,336 アクセス

■Facebook (ふらの市移住促進協議会)



Facebook トップ画面

◇アクセス件数

平成25年4月～平成26年3月

37,510 件

月平均約 3,126 件

(4) 移住協通信の発行

協議会の取り組みの紹介、移住相談・お試し暮らし住宅の状況、連絡事項等を記載し、協議会会員にメール等で送付、ふらの市移住促進協議会HPにて公開。

◇第30号（2013.6.19）



2. 移住促進に係る各種事業の推進

(1) 移住体験モニターツアーの企画・実施

■「素のーライフ in ふらの」の企画・実施

◇開催内容：富良野市への移住を考えている方に、富良野生活を体験することにより、移住を具体的に検討してもらう。また、滞在中にはブログによる情報発信を行い、ツアーに参加していない方にも、移住の疑似体験をしてもらう。

◇開催期間：平成26年2月12日～2月15日（3泊4日）

◇参加者数：2組3名

世帯構成	住所
60代夫婦	大阪府枚方市
40代单身男性	東京都三鷹市

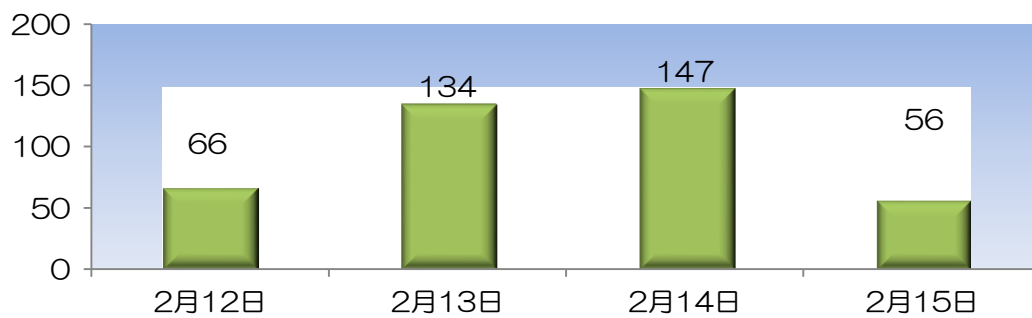
◇オリエンテーションの様子



◇市内施設見学ツアーの様子



◇移住体験モニターツアーブログのアクセス件数



(2) ふらの移住体験事業（お試し暮らし住宅）の実施

■市実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

◇弥生住宅



外観



内装



間取り

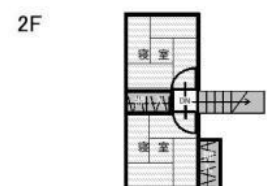
◇若松住宅



外観



内装



間取り

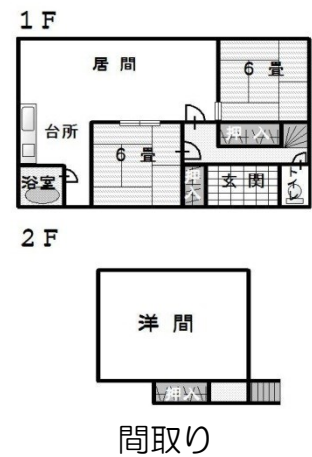
◇東山住宅1号



外観



内装



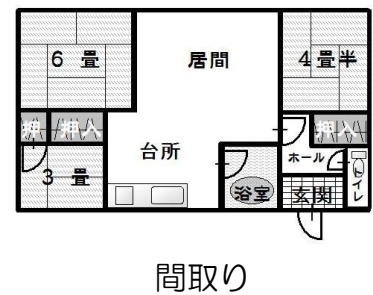
◇東山住宅2号



外観



内装



◇利用状況：11組24名

弥生住宅（4組8名）		東山住宅1号（2組4名）		東山住宅2号（3組7名）	
長崎県	60代夫婦	神奈川県	50代夫婦	静岡県	50代夫婦
兵庫県	30代単身女性	徳島県	60代夫婦	千葉県	60代夫婦
千葉県	30代親子			宮城県	30代夫婦＋子
東京都	40代夫婦＋子				
若松住宅（2組5名）					
埼玉県	60代夫婦＋子				
京都府	60代夫婦				

■民間実施のお試し暮らし住宅のホームページ公表

◇㈱北菱物件「アパルC」を公表



◇利用状況：3組5名

(3) 空き家の情報収集及び提供

- ・市街地及び農村地区の未活用となっている空き家等の情報収集。
- ・講演会等にて情報提供の依頼チラシ等を配付。

(4) 就労に関する情報の拡充

- ・ハローワーク求人情報による情報提供。
- ・富良野市農林課等と連携し、新規就農に対する情報提供。
- ・富良野市商工観光課主催「就職応援フェア」と連携による情報提供。

(5) 移住者に対するフォローアップ

◇移住者との意見交換会

- ・ふらビズム協議会主催「移住フォーラム」への協力。

3. 各種会議開催状況

(1) 総会

◇開催日 平成25年6月7日（金）

◇場所 富良野市役所大会議室

◇議 事 報告第1号 会員の脱退について
報告第2号 平成24年度事業報告について
報告第3号 平成24年度収支決算について
議案第1号 平成25年度事業計画（案）について
議案第2号 平成25年度収支予算（案）について
議案第3号 役員の改選について

(2) 幹事会

◇開催日 平成25年5月13日（月）

◇報告事項 ①お試し暮らし住宅の入居状況について
②平成24年4月～平成25年3月までの移住相談状況について
③移住状況について

◇協議事項 ①平成25年度総会について

(3) 移住促進作業チーム

■第1回

◇開催日 平成25年4月22日（水）

◇報告事項 ①移住体験モニターツアーについて
②平成24年度における移住相談の状況について

◇協議事項 ①平成24年度事業報告及び収支決算について
②平成25年度事業計画について
③平成25年度事業予算について

■第2回

◇開催日 平成25年8月22日（水）

◇協議事項 ①北海道暮らし・フェアの開催について
②移住体験モニターツアーの開催について
③移住促進フォーラムの開催について

■第3回

◇開催日 平成25年9月26日（木）

◇協議事項 ①北海道暮らし・フェアの開催について
②移住体験モニターツアーの開催について
③移住促進フォーラムの開催について

■第4回

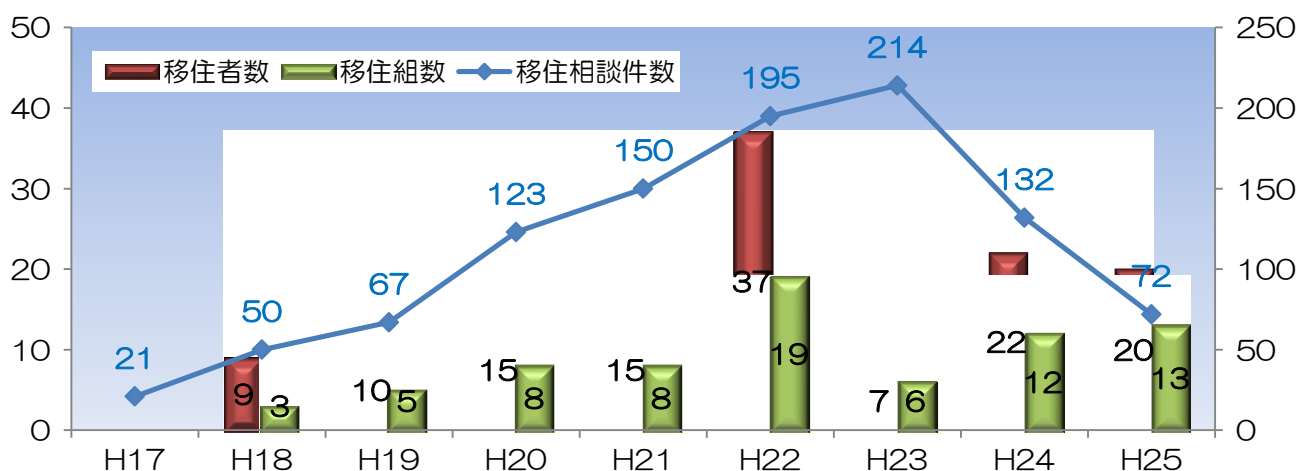
◇開催日 平成26年1月8日（水）

◇報告事項 ①北海道暮らし・フェアについて
◇協議事項 ①移住体験モニターツアーの開催について
②移住促進フォーラムの開催について

移住実績

■移住者数及び相談件数

年 度	H17年 6月～	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	合計
移住者	0件	3組 9名	5組 10名	8組 15名	8組 15名	19組 37名	6組 7名	12組 22名	13組 20名	74組 135名
移住相 談件数	21件	50件	67件	123件	150件	195件	214件	132件	72件	820件



■移住相談集計結果

移住相談集計結果

期間：2013/4/1～2014/3/31

単位：人

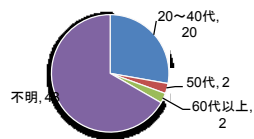
■全集計

H25

総数	72
----	----

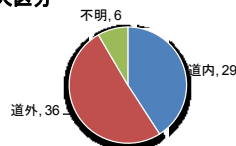
1. 年齢	20～40代	20	27.8%
	50代	2	2.8%
	60代以上	2	2.8%
	不明	48	66.7%

1.年齢

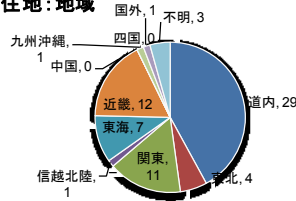


2. 居住地	大区分	道内	29	40.3%
		道外	36	50.0%
		不明	6	8.3%
	地域	道内	29	40.3%
		東北	4	5.6%
		関東	11	15.3%
		信越北陸	1	1.4%
		東海	7	9.7%
		近畿	12	16.7%
		中国		
		四国		
		九州沖縄	1	1.4%
		国外	1	1.4%
		不明	3	4.2%

2-1.居住地：大区分

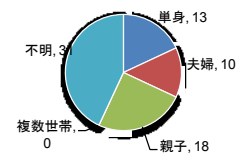


2-2.居住地：地域



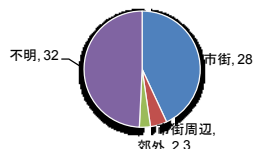
3. 構成	単身	13	18.1%
	夫婦	10	13.9%
	親子	18	25.0%
	複数世帯		
	不明	31	43.1%

3.構成



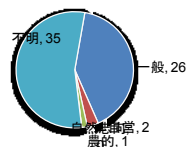
4. 希望地	市街	28	38.9%
	市街周辺	3	4.2%
	郊外	2	2.8%
	不明	32	44.4%

4.希望地



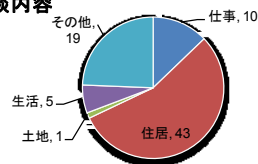
5. 希望形態	一般	26	36.1%
	自営	2	2.8%
	農的	1	1.4%
	自然志向		
	不明	35	48.6%

5.希望形態



6. 相談内容	仕事	10	13.9%
	住居	43	59.7%
	土地	1	1.4%
	生活	5	6.9%
	その他	19	26.4%

6.相談内容



※相談時期	4～6月	7	9.7%
	7～9月	16	22.2%
	10～12月	21	29.2%
	1～3月	28	38.9%

移住者数	完全移住	13組	20人
	二地域移住		
	お試し暮らし	11組	24人

H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24

総数	21	50	67	123	150	195	214	132
----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----

20～40代	12	26	31	70	51	73	76	55
50代	3	8	9	15	18	21	10	7
60代以上	2	4	9	17	31	24	31	12
不明	4	12	17	20	50	77	97	59

道内	7	14	30	53	44	66	78	59
道外	13	33	35	57	94	114	125	67
不明	1	3	2	10	12	15	11	6
道内	7	14	30	53	44	66	78	59
東北			3	2	1	6	12	7
関東	6	20	14	27	42	53	65	27
信越北陸	1	1	1	1	3	3	4	4
東海		2	4	4	15	7	5	5
近畿	3	6	5	11	24	24	22	15
中国		1	1	3	6	4	4	3
四国	1	3	1		1	2	1	2
九州沖縄	2		3	6	2	9	7	
国外					1	6	1	4
不明	1	3	5	13	11	15	15	6

単身	2	8	13	34	39	42	48	31
夫婦	5	12	15	27	37	43	40	20
親子	3	15	9	18	16	26	32	14
複数世帯	1		1			4	7	1
不明	10	15	26	42	58	80	87	64

市街	16	25	40	70	38	56	57	44
市街周辺		6	8	10	5	9	12	5
郊外	4	4	14	21	17	20	11	11
不明	1	15	5	22	90	110	134	70

一般	19	30	46	71	32	40	59	32
自営	2	5	12	6	4	10	8	5
農的		6	2	4	7	5	9	7
自然志向		1		12	5	6	2	
不明		8	7	30	102	134	136	86

仕事	9	18	8	23	25	23	27	11
住居	15	35	40	87	85	103	121	69
土地	2	7	7	13	14	9	12	1
生活	7	10	6	20	17	17	18	11
その他		22	21	28	26	71	78	41

4～6月	1	16	9	20	39	31	79	27
7～9月	6	14	14	31	38	58	65	37
10～12月	6	10	22	24	38	54	29	36
1～3月	8	10	22	48	35	52	41	33

完全移住		3組	5組	6組	7組	17組	6組	12組
		9人	10人	13人	13人	33人	7人	22人
二地域移住				2組	1組	1組	4組	
				2人	2人	2人	6人	
お試し暮らし	-	-	-	-	8組	14組	18組	17組
	-	-	-	-	10人	26人	26人	33人

■新聞記事

2013年（平成25年）5月29日（水）
北海道新聞 朝刊 社会欄

体験移住 人気上昇中

道は道内市町村と協力して進めている体験移住事業「ちよっと暮らし」の2012年度の利用実績をまとめた。利用者は前年度比30%増の延べ1975人で、06年度の事業開始以降、増え続けている。平均滞在日数は同3・6日増の30・3日となり、初めて30日を超えた。

事業は道内への移住者の増加につなげる狙い。各市町村が用意した空き

12年度、利用30%増

平均滞在 初の30日超え

道は道内市町村と協力して進めている体験移住事業「ちよっと暮らし」の2012年度の利用実績をまとめた。利用者は前年度比30%増の延べ1975人で、06年度の事業開始以降、増え続けている。平均滞在日数は同3・6日増の30・3日となり、初めて30日を超えた。

事業は道内への移住者の増加につなげる狙い。各市町村が用意した空き

家や専用施設で数日から数カ月間、利用料を払って暮らすという。12年度は初年度の2・2倍となる31市町村が滞在先を用意し、うち76市町村で利用があった。利用者が最も多かったのは釧路市の180人で、紋別市117人、根室管内中標津町89人、檜山管内厚沢部町とオホーツク管内清里町が86人と続いた。利用者は初年度の4・33%だった。

2013年（平成25年）5月30日（木）
日刊富良野

初めての「地域おこし協力隊員」

あす神戸市の女性に委嘱状を交付

富良野市はあす31日、富良野市地域おこし協力隊員の委嘱状交付式を市役所市長応接室で行う。委嘱されるのは、兵庫県の山本美穂さん。協賛会主催の募集に申し出て、富良野市の地域おこし協力隊として、あす31日、富良野市役所市長応接室で委嘱状を交付される。山本さんは、富良野市で約3年間、地域おこし協力隊として活動する。富良野市は、地域おこし協力隊として、あす31日、富良野市役所市長応接室で委嘱状を交付される。山本さんは、富良野市で約3年間、地域おこし協力隊として活動する。

2013（平成25年）6月6日（木）
ふらの市移住促進協議会総会（日刊富良野）

あす移住促進協議会の総会

ふらの市移住促進協議会（能登芳昭会長）は、平成25年度総会をあす7日午後1時半から、富良野市役所大会議室で開き、平成24年度の事業報告と、同25年度の事業計画、予算などについて協議する。

第30号 平成25(2013)年6月19日(水)

移住協通信

ふらの市移住促進協議会事務局

〒076-8555

北海道富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内

TEL: 0167-39-2304 FAX: 0167-23-2121

E-mail: info@iju.furano.ne.jp



平成25年度 ふらの市移住促進協議会総会開催

ふらの市移住促進協議会平成25年度総会が、平成25年6月7日(金)午後1時30分より、富良野市役所大会議室において開催されました。



当日は、能登会長(富良野市長)より、平成24年度移住相談件数が132件、完全移住者が12組22名で、平成18年度以降の実績をみると61組115名の方が富良野市に移住している。また、移住相談窓口を経由しない移住者を含めるともっと多くの方が富良野市に移住している状況である。今後もさらなる移住促進につながる事業を行っていく必要があるとの挨拶がありました。

続いて、平成24年度事業報告・収支決算及び平成25年度事業計画・収支予算(案)について審議し承認をいただきました。

平成25年度 負担金

総会の終了に伴いまして、ふらの市移住促進協議会の平成25年度負担金の請求書をご送付させていただきますので、6月28日(金)までに納入いただきますようお願いいたします。

お試し暮らし住宅 利用者滞在日数道内10位!

北海道では5月27日、北海道体験移住「ちょっと暮らし」の平成24年度年間分の実績を発表しました。その中において、富良野市でのお試し暮らし住宅利用滞在日数が1,588日であり道内10位の利用状況となっています。

道内全体では、「ちょっと暮らし」の利用者数が、1,975人と前年に比べ30.2%の増加。平均滞在日数は初めて30日を超える状況となっています。利用者を対象としたアンケート結果では、利用者の約3割が今後移住を考えるとしており、多くの方が賃貸での一戸建て住宅への居住を希望している状況です。また、利用者は50歳代以上が約8割、夫婦での利用が約7割と大半を占め、利用目的としては、「シーズンステイ」が全体の45%、「移住候補地探し」が20%程度となっています。

順位	滞 在 日 数	
1	釧路市	6,834日
2	浦河町	5,076日
3	紋別市	3,595日
4	新ひだか	2,331日
5	伊達市	2,298日
6	美瑛町	2,240日
7	旭川市	2,074日
8	日高町	1,987日
9	中標津町	1,928日
10	富良野市	1,588日

ふらの市移住促進協議会 事務局

〒076-8555 富良野市弥生町1番1号 富良野市企画振興課内
TEL 0167-39-2304 FAX 0167-23-2121